



## 平成29年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年3月9日

上場会社名 日本ビューホテル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6097 URL <http://www.viewhotels.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 由明  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 矢島 学 TEL 03-5828-4429 (代表)  
 四半期報告書提出予定日 平成29年3月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年4月期第3四半期の連結業績（平成28年5月1日～平成29年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第3四半期	15,350	3.9	1,216	2.6	1,207	8.1	△1,610	—
28年4月期第3四半期	14,776	5.6	1,185	34.8	1,116	4.9	670	2.3

(注) 包括利益 29年4月期第3四半期 △1,597百万円 (—%) 28年4月期第3四半期 669百万円 (2.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第3四半期	△166.41	—
28年4月期第3四半期	69.35	68.61

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年4月期第3四半期	22,075	12,687	57.5
28年4月期	24,162	14,543	60.2

(参考) 自己資本 29年4月期第3四半期 12,687百万円 28年4月期 14,543百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	0.00	—	27.00	27.00
29年4月期	—	0.00	—	—	—
29年4月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年4月期の連結業績予想（平成28年5月1日～平成29年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	6.5	1,420	7.0	1,310	4.1	△1,700	—	△175.64

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成29年4月期の業績予想の1株当たり当期純利益はストック・オプション行使分(6,400株)を含めた期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注)詳細は、添付資料P. 4「サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年4月期3Q	9,680,825株	28年4月期	9,674,425株
② 期末自己株式数	29年4月期3Q	3,000株	28年4月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年4月期3Q	9,678,974株	28年4月期3Q	9,660,679株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府及び日銀による経済政策、金融政策等の実施により、雇用環境は堅調に推移した他、景気は緩やかに回復しつつ個人消費は持ち直しの傾向が見られました。しかしながら、英国のEU離脱問題や中国経済の減速懸念、並びにトランプ大統領の就任により米国の今後の具体的な政策が不透明であるなど、予断を許さない状況が続いております。

ホテル業界におきましては、2016年の訪日外国人旅行者数は累計で2,403万人となり過去最高を記録した一方、新規ホテルの開業による競争の激化や民泊の広がりなどの影響もあり、ホテル業界の経営環境にも変化が表れております。

このような経営環境のもと、当社グループは、平成28年4月期からの3ヶ年の中期経営計画「VIEW HOTELS V-STAGE 280」の基本方針1) 既存施設での継続的な設備投資、2) 新規ホテル・旅館の展開、3) 新規事業の展開に基づき、既存事業の持続的な成長と事業基盤の拡大のための取り組みを進めております。その一方で、各ホテルの現状・市場・将来性の再検討を行った結果、ホテル事業において、高崎ビューホテルは平成29年12月末を以て営業を終了することとし、減損損失として620百万円を特別損失に計上いたしました。また秋田ビューホテルの借地権等について減損の兆候が見られたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として1,930百万円を特別損失に計上いたしました。

なお当社グループは、平成30年4月期から4ヶ年の第2次中期経営計画「VIEW HOTELS Mission - Sustainable Growth -」を新たに策定いたしました。今後は新中期経営計画に基づき、長期持続的な成長への取り組みを進めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,350百万円（前年同期比3.9%増）となり、営業利益は1,216百万円（前年同期比2.6%増）、経常利益は1,207百万円（前年同期比8.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,610百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益670百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

セグメントの 名称	売上高			セグメント利益（営業利益）			減価償却前営業利益(*)		
	前第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)	前第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)	前第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)
ホテル事業	12,282	12,907	625	971	1,116	145	1,701	1,845	143
施設運営事業	1,459	1,341	△118	39	32	△7	60	49	△10
遊園地事業	1,108	1,170	62	168	60	△108	214	137	△77
合計	14,850	15,420	569	1,179	1,209	29	1,976	2,032	55
調整額	△74	△69	4	6	7	1	6	7	1
連結数値	14,776	15,350	573	1,185	1,216	31	1,983	2,040	57

(\*) 減価償却前営業利益＝営業利益＋減価償却費

## ①ホテル事業

ホテル事業では、宿泊部門において引き続き拡大傾向にある訪日外国人旅行者マーケットへの対応としてインターネットによる集客に注力した他、需要動向予測に基づく料金プランの設定による1室当たりの売上高の最大化を図りました。旗艦ホテルである浅草ビューホテルが婚礼・宴会、客室、レストラン他で前連結会計年度と比べ増収となり業績をけん引した他、前連結会計年度の11月に開業いたしました両国ビューホテルが主に宿泊売上などの業績に寄与いたしました。設備投資では、成田ビューホテルで客室78室の改装、浅草ビューホテルで最上階に新たなパー施設の設置等を行い、集客力の向上を図った他、浅草ビューホテルのエレベーターや空調設備の更新工事など、安心・安全への取り組みを実施しております。

これらの結果、売上高は12,907百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は1,116百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

## ②施設運営事業

施設運営事業では、「ぎょうけい館」や「ホテルプラザ菜の花」を中心に、インターネットでの宿泊プランの充実を図りましたが、「ぎょうけい館」や「おくたま路」等のリゾート施設では8月から9月にかけての天候不順の影響が大きく、宿泊者数が減少いたしました。また、前連結会計年度の3月に保養所の受託契約が1件終了したことにより、前連結会計年度と比べ売上高等が減少しております。

これらの結果、売上高は1,341百万円（前年同期比8.1%減）、営業利益は32百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

## ③遊園地事業

那須りんどう湖 LAKE VIEWでは、昨年7月に新たにオープンしました「那須の恵み M e k k e（めっけ）！ プッフェ&マルシェ」において、ランチ団体の獲得に注力した他、昨年10月より販売を開始しました「薪グリルディナー」と近隣施設とのタイアップ商品の開発を進め、ディナー販売の拡大に努めてまいりました。またクリスマスディナーや忘年会等の商品販売の強化に努めましたが、8月から9月にかけての天候不順の影響の他、新施設オープンに伴う開業費用の計上などもあり、営業利益は減益となりました。

これらの結果、売上高は1,170百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は60百万円（前年同期比64.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計は、22,075百万円（前連結会計年度末24,162百万円）と、2,086百万円減少いたしました。

うち流動資産は、4,043百万円（同5,260百万円）と、1,217百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金、並びに売掛金の減少によるものであります。

固定資産は、18,032百万円（同18,901百万円）と、869百万円減少いたしました。これは、主に成田ビューホテルや那須りんどう湖LAKE VIEW等の設備投資により増加した一方、秋田ビューホテルの借地権等および高崎ビューホテルの営業終了に伴い建物等を減損損失として計上したことにより、減少したものであります。

## ②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、9,388百万円（前連結会計年度末9,618百万円）と、230百万円減少いたしました。

うち流動負債は、3,207百万円（同4,876百万円）と、1,668百万円減少いたしました。これは、主に買掛金および未払金の減少によるものであります。

固定負債は、6,180百万円（同4,742百万円）と、1,437百万円増加いたしました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

## ③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、12,687百万円（前連結会計年度末14,543百万円）と、1,856百万円減少いたしました。これは、主に秋田ビューホテルの借地権等および高崎ビューホテルの建物等を減損損失として計上したことにより、減少したものであります。この結果、自己資本比率は、57.5%（前連結会計年度末比2.7ポイント減）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成28年6月9日の「平成28年4月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を本資料において修正いたしました。なお、当該予想数値に関する詳細につきましては、平成29年1月12日付で別途開示しております「特別損失（減損損失）の計上および業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
（耐用年数の変更）

当社は、平成29年1月12日開催の取締役会において、高崎ビューホテルの営業を平成29年12月31日を目途として終了することを決議いたしました。これに伴い、当社が保有、運営する高崎ビューホテルの建物の耐用年数を営業終了までの期間に見直し、将来にわたり変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,572	2,777
売掛金	869	715
貯蔵品	211	186
繰延税金資産	137	114
その他	471	249
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,260	4,043
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,066	10,007
機械装置及び運搬具（純額）	259	241
工具、器具及び備品（純額）	570	524
土地	5,974	5,613
建設仮勘定	226	384
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	17,097	16,770
無形固定資産		
借地権	1,380	—
その他	25	21
無形固定資産合計	1,405	21
投資その他の資産		
投資有価証券	40	46
長期貸付金	94	94
繰延税金資産	168	294
その他	195	903
貸倒引当金	△99	△97
投資その他の資産合計	399	1,240
固定資産合計	18,901	18,032
資産合計	24,162	22,075

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,026	297
1年内償還予定の社債	165	165
1年内返済予定の長期借入金	1,389	1,034
リース債務	44	45
未払金	1,306	949
未払法人税等	190	185
未払消費税等	174	135
賞与引当金	241	135
ポイント引当金	34	32
その他	303	226
流動負債合計	4,876	3,207
固定負債		
社債	418	335
長期借入金	3,203	4,835
リース債務	78	75
退職給付に係る負債	594	552
資産除去債務	47	47
長期未払金	245	188
その他	153	144
固定負債合計	4,742	6,180
負債合計	9,618	9,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,766	2,769
資本剰余金	1,686	1,689
利益剰余金	10,085	8,213
自己株式	—	△4
株主資本合計	14,538	12,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	5
退職給付に係る調整累計額	3	12
その他の包括利益累計額合計	4	18
純資産合計	14,543	12,687
負債純資産合計	24,162	22,075



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)
売上高	14,776	15,350
売上原価	3,724	3,773
売上総利益	11,051	11,576
販売費及び一般管理費	9,865	10,359
営業利益	1,185	1,216
営業外収益		
受取補償金	—	37
その他	70	76
営業外収益合計	70	113
営業外費用		
支払利息	67	61
資金調達費用	3	—
株式公開費用	14	0
支払手数料	47	50
その他	7	11
営業外費用合計	140	123
経常利益	1,116	1,207
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産除却損	142	68
減損損失	—	2,551
特別損失合計	142	2,619
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	974	△1,408
法人税、住民税及び事業税	228	311
法人税等調整額	76	△108
法人税等合計	304	202
四半期純利益又は四半期純損失(△)	670	△1,610
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	670	△1,610

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	670	△1,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	4
退職給付に係る調整額	△3	9
その他の包括利益合計	△0	13
四半期包括利益	669	△1,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	669	△1,597

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年5月1日至平成28年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,260	1,408	1,107	14,776	—	14,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	51	1	74	△74	—
計	12,282	1,459	1,108	14,850	△74	14,776
セグメント利益	971	39	168	1,179	6	1,185

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成29年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,891	1,289	1,169	15,350	—	15,350
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	51	1	69	△69	—
計	12,907	1,341	1,170	15,420	△69	15,350
セグメント利益	1,116	32	60	1,209	7	1,216

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ホテル事業」セグメントにおいて2,551百万円の減損損失を計上しております。